

ふゆやすみにおすすめのほん

2023年12月和光市図書館



わ こうし とし ゃ か ん し ゃ く い ん え ら ふ ゆ や す よ ほ ん し ゃ う か い
和光市図書館の職員が選んだ「冬休みに読んでほしい本」を紹介します。

よ う じ し ゃ う が く ね ん せい ね ん せい ね ん せい ね ん せい
幼児むけ、小学1、2年生むけ、3、4年生むけ、5、6年生むけです。ぜひ読んでみてください。

よ ほ ん か し だ し ち ゅ う よ や く と し ゃ か ん か う ん た い ひ と き
読みたい本が貸出中のときは予約できます。くわしくは、図書館のカウンターの人に聞いてください。



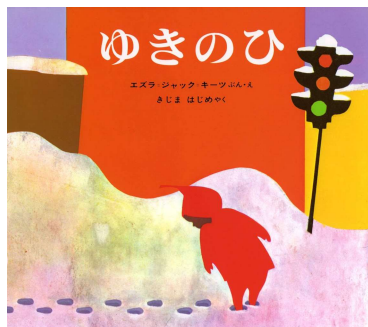
ようじ 幼児むけ



『あー、そなの!』

た か は し か す え さ く か い せい し ゃ ね ん ほ っ こ う ぶ ん り い いー ぴ ん
高橋 和枝/作 偕成社 2021年発行 分類 Eピン

は じ め て に ん げ ん の パーティーに およばれた、ねこの
プー。プーは こまったことが あると、なかよしの たまみさ
んに そうだんします。たまみさんは いつも、「あー、そなの
の!」 といっ て、プーを たすけて くれるのです。とっ てお
きの おまじないと げんきを もらえる おはなしです。



『ゆきのひ』

え す ら し ゃ く きーつ ね ん ほ っ こ う ぶ ん り い いー あ お
エズラ ジャック キーツ/ぶん・え きじま はじめ/やく 偕成社
1969年発行 分類 本館 Eキ、分館 Eアオ

ふゆのあるあさ、ピーターが めをさまして まどのそとをみる
と、ゆきがふって そとがいちめん しろく なっていました。
ピーターは そとへ とびだして、ゆきで あそびます。か
らだじゅうで ゆきを かんじながら あそぶ おとこのこと、
あたたかみのある えを おたのしみください。



『こたつ』

あ そ う と も こ さ く ふ く い ん か ん し ゃ て ん ね ん ほ っ こ う ぶ ん り い いー あ お
麻生 知子/作 福音館書店 2020年発行 分類 Eアオ

みなさんの おうちに こたつは ありますか? かそくみんな
が あったかい こたつのなかに はいってすごす ふゆのひは、と
ても いいものですね。えほんの ぶたいは、こたつが あるお
うちの おおみそかと おしょうがつ。おへやの うえから かそ
くの としこしの ようすを のぞかせて もらいましょう。



『小さな小さなウイルスの大きなはなし』
伊沢 尚子 / 文 坂井 治 / 絵 中屋敷 均 / 監修 くらももん出版
2021年発行 分類 Eミド

ウイルスは、わたしたちのまわりに たくさんいますが、とても小さいので 目で見ることはできませんね。ウイルスには 工場はないので、自分でなかまをふやすことは できません。では、インフルエンザなどの病気を起こすウイルスは いったい どうやって なかまをふやして 人にうつっていくのでしょうか？ ウイルスのことをして、ウイルスからじぶんの体をまもりましょう！

『だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ』

安房 直子 / 作 ひがし ちから / 絵 偕成社 2015年発行 分類 913



ひとりぼっちでくらしている だんまりうさぎは、あさからばんまで なんにもしゃべりません。お日さまがのぼると はたけに出ていって いっしょうけんめい はたらいているので、秋には 一人ではたべきれないほどの たくさんのやさいがとれました。

ある日、大きなかごをもった うさぎが 一匹き だんまりうさぎのいえを たずねてきます。そのうさぎは、だんまりうさぎにいいました。「あたしね、ちょっとおねがいがあって きたの。」それは、とてもすてきな おねがいでした。

かぞくや お友だちと おしゃべりしながら、おいしいごはんを たべたくなる おはなしです。

『こんにちは、アンリくん』

エティット ヴァシュロン / 文 ヴァージニア カール / 文・絵
松井 るり子 / 訳 徳間書店 2023年発行 分類 933バ



フランスにすんでいるアンリくんには、かぞくが たくさんいます。ある日、アンリくんは かあさんに たのまれて さかなをかいにでかけました。ねこのミシェルくんも さかなを かいにでかけました。さかなやさんで 二人がえらんだのは、おなじ 大きなさかなでした。にらみあった 二人は どうするのでしょうか？

アンリくんとミシェルくんの かぞくが なんにんいるか かぞえてみるのも たのしいですよ。



かみ ものがたり べっし よしこ ちよ ぶんけんしゅつばん ねんはっこう ぶんるい
『髪が つなぐ 物語』 別司 芳子 / 著 文研出版 2017年発行 分類 369

「ヘアドネーション」という言葉を聞いたことはありますか？「ヘアドネーション」とは、髪を失った子どもたちのために髪を寄付することで、実際にしてみたことがある人もいるかもしれません。

どんな人が寄付された髪の毛で作られたウィッグ（かつら）を待っているのでしょうか？集められた髪の毛からどのようにウィッグは作られているのでしょうか？ウィッグを待つ人たちの思いに心えたいと活動している人たちがいます。聞いたことがあっても実は知らない「ヘアドネーション」のことを、この本は教えてくれます。

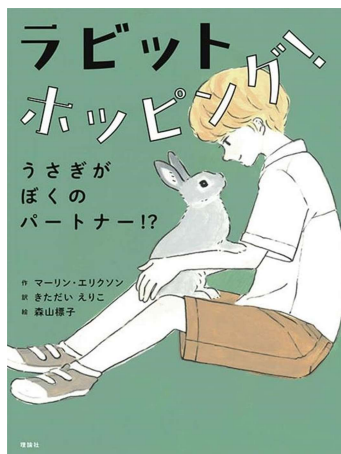
捨ててしまえばゴミになってしまうものが、実は誰かのためになるかもしれません。できることから助け合いを始めてみませんか？



まち
『コトノハ町はきょうもヘンテコ』
ひるた みつこ さく はやかわ よしお え みつむらとしよしゅつばん ねんはっこう ぶんるい
昼田 弥子 / 作 早川 世誌男 / 絵 光村図書出版 2020年発行 分類 913

小学生のレンちゃんが住むコトノハ町は、ちょっとヘンテコ。何がヘンテコかということ、ことばどおりのことが実際に起きてしまうのです。例えば、「道草をくってる」は「より道をする」という意味ですが、レンちゃんの町では、本当に道に生えている草を食べてしまいます。そんなコトノハ町のおかしな日常のお話です。

ことわざや慣用語がいろいろ出てきますが、最後の方に説明のページもあるので、安心して「言葉」の世界を楽しんでください。



『ラビットホッピング！うさぎがぼくのパートナー！？』
マーリン エリクソン / 作 きただい えりこ / 訳 森山 標子 / 絵
りろんしゃ ねんはっこう ぶんるい
理論社 2022年発行 分類 949 工

主人公のアルヴィンには病気の妹がいます。お母さんもお父さんも妹にかかりっきりで、アルヴィンはさみしさや不安、うらやましさを心閉じこめて過ごしています。そんな中、妹が入院することになり、アルヴィンはおじいさんの家にあずけられます。そこで出会ったのが「ラビットホッピング」でした。

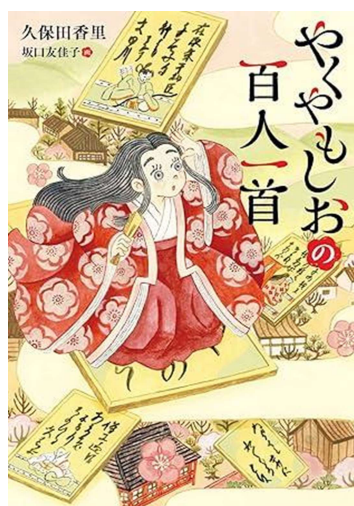
見守って信じてくれる大人と出会い、今まで気づかなかった周りの人のあたたかさを知り、アルヴィンの心は少しずつほぐれていきます。しんどい気持ちを外に出したら、受け止めてくれる人がきつといます。さみしさや自信のなさを抱えている人に読んでほしい1冊です。



『よみがえれ、マンモス！ 近畿大学マンモス復活プロジェクト』

れいじょう こ ぶん ふかがわ なおみ え こうだんしゃ ねんはっこう ぶんるい
令丈 ヒロ子／文 深川 直美／絵 講談社 2021年発行 分類 457

おおむかし ぜつめつ 大昔に絶滅してしまったマンモスですが、シベリアの凍っている土の中（永久凍土）から、発掘されたマンモスの細胞を使って、なんとか復活させられないかと、調査研究を続けている科学者達があります。発掘の様子や実験のエピソード、世界を驚かせた成果などを知れるとともに、その技術を使って、人間の繁栄のかけで絶滅してしまった動物や、絶滅してしまいそうな生き物を、なんとかできないかと日々研究に励んでいる、研究者達の思いも知ることができる内容です。



『やくやもしおの百人一首』

く ぼた かおり さく さかくち ゆか こ え くもん しゅつぱん ねんはっこう ぶんるい
久保田 香里／作 坂口 友佳子／画 くもん出版 2022年発行 分類 913

ひやくにんいっしゅ 百人一首かるたは、和歌の上の句が書かれた札と、下の句が書かれた札の二枚一組で一つの歌になっているかるたですが、タイトルの「やくやもしお」は、ある歌の下の句にあたります。この物語は、下の句の「やくやもしお」が人間の女の子になって、鎌倉時代の京都にタイムワープして、そこで出会った藤原定家をはじめ、八百年前の人々に助けをもらいながら、ある目的のために男の子に姿を変えて、行方知れずになっている上の句を探す、ファンタジーストーリーです。

たくさんの和歌や、かるた同士の秘密のつながりも紹介されていて、百人一首のイメージが変わるかもしれません。



『図書館がくれた宝物』 ケイト アルバス／作 櫛田 理絵／訳

とくましょてん ねんはっこう ぶんるい
徳間書店 2023年発行 分類 933 ア

だいに じせかいたいせんか 第二次世界大戦下のロンドン。とつぜんみ 突然身よりがなくなった 12歳のウィリアム、11歳のエドモンド、9歳のアンナの兄弟は、疎開先でなんとか保護者になってくれる人を探そうと計画します。ところが疎開先ではきびしいことの連続で、唯一の楽しみは本好きな3人にとって、村の図書館に行くことでした。たくさんの本と司書のミュラーさんに力をもらいながら、毎日をユーモラスに生き抜いていきます。そして最後には、うれしい奇跡がおこり……。巻末に、この物語に登場する本も紹介されています。ぜひそちらも、あわせて読んでみてください。